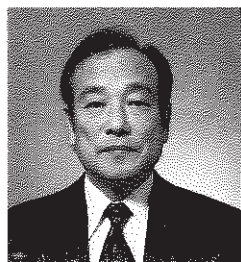


CONTENTS

1. 新会長あいさつ
第6回藍旗賞授与式開催
2. 現役活動報告
3. OB会活動報告
4. OB会活動報告
5. 平成9年度決算報告
平成10年度藍旗会役員名簿
6. 平成10年度主な活動報告
会費納入のお願い

新会長あいさつ 藍旗会会長 海野正幸



久々の機関誌の発行という事で一言ご挨拶申し上げます。

この間に東村会長が退任し高道事務局長が転職した事もあり、各クラブのOB会費納入について大変ご迷惑をお掛けした事を、まずお詫び申し上げます。

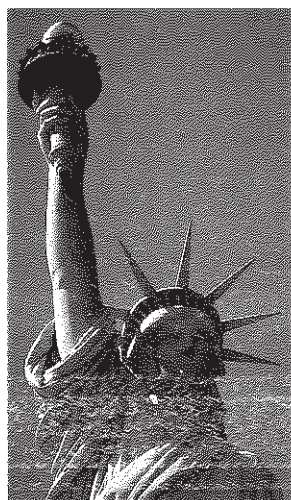
今年の4月から会長職をやらせて頂いておりますが、本当のところ戸惑っております。何故なら、東村前会長の企画力、行動力を間近に見てきたからであります。私としては半永久的に会長職を続けて欲しいぐらいに思っておりましたから、突然こちらにお箱が廻って来ても自分の体調の事もありおことわりするしかありませんでした。

しかし、東村会長の心情並びに今年から発足した「埼玉県アメリカンフットボール協会」の理事長職に力を注ぎたいという意向、又他の役員熱心な要請もありワンポイントリリーフでしたらという事で受けた訳です。振り返ってみますと、前会長の実績は大変なもので、まず藍旗賞の創設、JCBによるOB会費の引落し制度があります。藍旗会の主たる業務とすれば従来から有った機関誌の発行とこの二つであります。如何に大きな実績であったかお解り頂けるかと思ひます。

それでは次にやるべき事は何かと考えるに、まずは大学、藍旗会、現役部員との一体感を高める事ではないかと思ひます。その為に、各クラブの部長先生や、体育会本部役員との意志疎通を充分に図っていききたい、通り一遍の懇親会ではなく、何かテーマを持ってそれぞれの立場から意見を聞き、把握・理解した上であれば、仮に大学に対する要望であっても堂々と主張出来るのではないかと考えられます。個々ではやっていたかと思ひますが、やはり組織として動いた方が効果があると考えます。

幸いにも今年から同窓会組織の一員として、少子化の時代に向け互いに協力し合っていく事になりました。従ってそう云う意味でもこのタイアップの意義は大きいと思ひます。

予算も他の団体より沢山頂き、期待の大きさを感じておりますが、反面その分義務も大きくなりますのでその点はよろしくお願ひしたいと思っております。特に同窓会地方の役員には藍旗会への期待の大きさがひしひしと感じさせられます。これらの期待に答えられるよう頑張るつもりでありますので会員皆様より一層のご支援、ご協力を頂きますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



受賞おめでとう!! 第6回藍旗賞授与式開催

平成10年2月3日、東京池袋のホテル第一イン池袋において、藍旗会主催による「第6回藍旗賞授与式及び祝賀会」が開催された。今回の藍旗賞は個人の部が2名と団体の部が2団体、そして特別賞1名であった。授与式は、東村真会長より一人ずつに賞状とトロフィーと記念品が贈呈された。



〈受賞者〉

- 個人賞 小松 武 第31回全国学生剣道優勝大会
(剣道部4年) 個人男子実戦優勝
優秀選手賞受賞
平成9年度世界大会
団体展開競技2位メンバー
- 個人賞 石坂晋哉 全日本学生スキー選手権大会第4部スラローム 6位入賞
(スキー部2年) (60チーム230名出場)
- 特別賞 立石将紀 東日本学生相撲個人体重別選手権60- 未満級3位インカ出場
(1年) 全国学生相撲個人体重別選手権60- 未満級ベスト16
- 団体賞 剣道部 第31回全国学生剣道優勝大会
総合優勝 出場21大学
団体展開競技 優勝 (16大学12チーム中)
女子実戦競技 優勝 (16大学6チーム中)
団体法形 3位 (14大学18チーム中)
新人法形 4位 (14大学18チーム中)
- 団体賞 アメリカンフットボール部 1997年関東アメリカンフットボールエリア1部Cブロック完全優勝

かすみ

どこの大学の学園祭でも、学生達が青春を満喫している。東京国際大学の学園祭は毎年十一月のはじめに開催されている。その名称は「秋霞祭」と言っている。◆この大学祭は、創学三年目に各クラブの代表者が集まって、何回かの打ち合わせを重ねて準備をして、ようやく開催したのが始まりである。大学が東武東上線の霞ヶ関にあり、開催季節が秋であるので「秋霞祭」と名付けた。この秋霞祭も早いもので今回「第三十二回」目の開催であった。その歴史の積み重ねと伝統の重さを感じている。◆その時期をあわせてように体育会本部の役員が交代して新幹線の接換を聞いた。「第十四期」の新役員であるという。体育会本部の歴史を顧みると創設は、昭和四十三年に誕生して今日まで続いているので、通算すると「第三十二期」となり、秋霞祭と同じ歴史がある。◆体育会の現役学生が本部役員のOBに連絡をとったときにこんな事があった。十八歳以上と離れてゐる先輩に対して、「私体育会本部十二期の〇〇であります。十四期の△△先輩でありますか。受けたOBは、啞然としたそうです。「こんな事では他の大学からみれば、東京国際大学の体育会の歴史はまだ浅いものだ、と思われ。」と言っていた。◆東京国際大学は校名が、国際商科大学から現在の名称に変更して、十四年目を迎えるが、記念式典などでは、通期の二十五周年や三十周年の名称を必ず採用している。校名変更の時も、初代学長より主な卒業生に対して、趣意説明が行われ、OBらは納得した。◆体育会出身のOBの多くは、東京国際大学体育会の期について、創当初からの「通期」に元の通り直すことを希望している。現役役員は如何考えるか。

●現役活動報告 私たちは、今こんな活動をしています。

『硬式庭球部』 ◎嬉しさをつかめた今年…

初めての試み 古木一成

今年の秋、初めて秋季リーグ戦に参加、そしてT I Uカップの開催という、これまでに無かった新しいことに挑戦した。秋季リーグは予選負けしたし、T I Uカップも出場ペアが少なかった。しかし、誰もが良い経験になったことは確かである。結果はともかく、今年このメンバーでやることができ、本当に嬉しかった。

春季リーグ戦に向けて部員一同悔いの無いよう頑張っていくつもりだ。



『アーチェリー部』 ◎来季上部昇格を目指す。

我々東京国際大学体育会アーチェリー部は、1年生20人、2年生20人、3年生17人、4年生15人、計72人で活動しております。平成10年度春季リーグ戦では男子2部リーグ優勝したものの入れ替え戦敗退、女子は3部リーグ全敗というくやしい結果でありました。

春季リーグ戦後4年生が引退され、我々32期新幹部に引きつぎ来季上部昇格を目指し日々がんばっております。

最後に、今後の体育会の発展をお祈りいたしまして、我部の紹介を終らせていただきます。



『ラグビー部』 ◎河川敷の練習を見に来て下さい!!

私達ラグビー部は、入間川沿いの河川敷グラウンドで週6日練習しています。時間は、グラウンドで2、3時間やっています。その後、学校に戻ってきてから、練習したことの確認や、筋肉トレーニングなどを行っています。練習内容は、春は、走りこみ中心で、秋からはリーグ戦があるので、チームプレー中心に練習しています。私達は、秋のリーグ戦の勝利を得ることを目標に、春から厳しい練習をやっています。これを読まれた方は、是非、河川敷の練習を見に来てください。勇気を与えます!!



『スキー部』 ◎1年間の練習の成果を

毎週月水金の週3回、図書館前を主に使用した、体力作りをしている。11月9日、10日に狭山でのレース、12月14日にロシカップに出場する予定。

12月4日に後期練習を打ち上げ、同月の23日から31日まで北海道の北布スキー場にて冬合宿を行う。1月中旬にはインカレに出場し、2月には長野県の志賀高原にて2週間強の長期合宿を行う。3月には春合宿を行い、その後の岩岳のレースに1年間の練習の成果を発揮する。長い陸上トレーニングを終え、今年も熱いシーズンが近づいて来た。

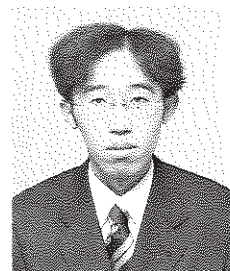


『体育会本部』 ◎いつもお世話になっております。

第13期体育会本部 委員長 細田敏寛

毎年、毎年、藍旗会の諸先輩方には、東京国際大学体育会並びに、東京国際大学体育会本部がお世話になっております。

現在、体育会の人数が減少しております。体育会本部としても部員増加を目指していろいろ工夫しています。しかし、各部の勧誘もうまくいかず、運営の苦しい部、試合にも参加できない部など様々です。本部役員並びに、各部とも体育会を活性化させようと努力しています。そこで、現役部員だけでなく、各部のOBの諸先輩方の力、知恵をお借りしたいと考えています。第13期体育会は残り1ヵ月で引退ですが、これから14期、15期と続く体育会に御協力頂ければ幸いです。



● OB会活動報告

私たちは、OBの結束を計るためにこんな活動をしています。

『ヨット部OB会』

ヨット部OB会は会員相互の交流とインカレでの優勝をめざす現役学生への援助を目的として設立され、はや20年、会員も今年で117名となりました。毎年、春のOB総会をはじめ、現役と合同で秋のOB戦（米山杯）、冬のクリスマスパーティー等の行事を中心に活動しています。



『拳友会〔少林寺拳法部OB会〕』

18期 熊坂雅彦

昨年末、クラブ創立25周年を記念し、第1キャンパスで大会を開催しました。第1部は技術講習会、第2部は（財）少林寺拳法連盟・宗由貴会長講演会、第3部は金子学長をご招待しての祝賀会でした。大会は、拳友会会員はもとより、その家族、近隣の少林寺拳法関係者ら多数の参加を得て、盛会裡に幕を閉じました。藍旗会からは東村会長にお越しいただきました。

本会は、会員数が200名に迫ろうという大所帯となりました。会員相互の意志疎通を図ったり、現役学生に助成を行うことが主な活動内容です。そのために事務局を置き、各期毎の代表委員制度を取り入れています。また、住所録を兼ねた機関誌『拳友』を発行しています。最新号（9号）の発行を11月に予定しています。

本会の年会費は5,000円、会費納付率アップが当面の課題です。藍旗会が斡旋する口座振替に切り替えているところです。これまでのところ数十名の切替えが完了しました。

『フェンシング部OB会』

「苦、楽、礼にもとづくチームワーク作り」をモットーとする当部も創部22年を経て、OB数総勢75名となる所帯となりました。OB会は毎年定例総会として秋霞祭の11月3日に霞ヶ関に集合し、現役も交えOB間の親睦を深めています。（写真は10年11月3日のOB会）

今後は全員が一同に会するのは難しいので、年代別、地域別のOB会（ゴルフコンペ、温泉旅行等）として小規模のグループでの集まりを計画していく予定です。



『忼沁会〔跆拳道部OB会〕』

忼沁会の平成9、10年度の主な活動内容としましては、平成9年8月北欧フィンランドにおいて開催された跆拳道選手権大会に出場した現役及びOB選手への世界遠征費援助をはじめ、平成10年8月2日に開催された日米親善跆拳道優勝大会に際し、来日した米国選手団への大会参加に関する全面的バックアップ等、井上雅生会長を中心に現役学生への支援はもとより、跆拳道の発展を視野に入れた活動を展開しています。

『ワンダーフォーゲル部OB会』

OB会会長 長野光司（8期）

当部の会員も既に189名になり、多人数になったという実感です。会の運営も大変であり、何とか継続しているというのが現況です。年々無関心の会員が増加傾向にありますが、実際に会合に参加すると、会員は、必ず、帰りには満足した笑顔になるのです。昔にもどってしまうのですね。

9月20日には、現役・OBで高尾山に行って来ましたが、山行もおもしろかったのですが、下山後のそば屋を独占した懇親会では、老いも若きも全員がワンゲル部現役になってしまいました。この感動を得るためには、とにかく参加することです。

今後は、山小屋の建設問題（土地は取得済）、OB山行及びOB・現役山行、総会等を計画していきますのでお願いします。なお、会費（年間500円）未納者は、至急送付して下さい。



『アメリカンフットボール部OB会』

“21世紀に向けて” OB会会長 陳 聖秀（4期）

今年度のOB総会にて会長を任じられ、2年間（'98、'99）の任期をOB会の発展と現役への支援を一つでも多く達成出来る様、微力乍ら頑張る所存です。我が部も一昨年で創部30周年を迎え、今年3月度の卒業生が新OB会員と成った事に依り、総勢221名の所帯を形成する運びと成りました。現役におきましては、昨年度はリーグ優勝を果すも、2部入れ替戦で惜敗し、涙を飲んだ訳ですが、過去、4回のリーグ優勝の実績を踏まえ、今年度こそはリーグ優勝は固より、2部昇格への道を目指し、現役は勿論、現役指導部並びにOB会、父母会共々惜しまない支援と協力を行って居ります。今世紀残る2年間において、最も大きな会の目標としては、若きOB各位の積極的な会への参加と現役への指導、支援を仰ぐ事を掲げて居り、若いOBの活力と新しいアイディアが導入されてこそ、明るい21世紀を迎える事が出来ると信じ、現在邁進しております。

.....次のページに続きます。→

『硬式庭球部OB会』

事務局 熊中省吾

我が硬式庭球部は本学クラブとして古い歴史を刻んできたにもかかわらず、OB会が休止状態となっていたが、OB会員の強い要望もあり、平成9年7月12日、千代田区九段「ホテルグランドパレス」にて硬式庭球部OB会が総勢65名の参加のもとに盛大に開催された。

総会の席上、会長に平井義弘(1期卒)、副会長に鶴見一彦(2期卒)、事務局長に吉野和典(5期卒)、事務局会計担当に熊中省吾(14期卒)の各役員が選出された。OB会費年額は卒業10年以上のOBは5,000円、10年未満は3,000円に決定。

OB会の活動は総会の開催及び本田実杯テニストーナメント大会の開催で、今年は11月22日現役学生とOBが共に参加し競い合う。多くのOBが参加できることを期待しています。



事務局 〒297-0065
千葉県茂原市緑ヶ丘4-29-11
TEL 0475-25-1396
熊中省吾

『ボウリング部OB会』

主な活動は年3回行われ、11月には現役対抗戦及びOB会総会が同時開催され、去る11月22日に多数のOB会員参加のもと無事終了致しました。また、女子OBの懇親会が年1回開催したり、男子を中心にゴルフコンペをしたり楽しく運営をしております。

今後は、東京以外の地域を含め広い範囲でのOB会員の参加の出来る活動を進めていくことが課題となっております。

『アーチェリー部OB会』

現在、積極的な活動は行なっておらず、不定期ですが記念行事のみ開催致しております。30周年記念も現役生をまじえ60名近い会員が集まる中、行なうことが出来ました。

また現役生はここ3、4年間、入部部員も毎年20名を超え、クラブ運営も充実しており、関東学生アーチェリー連盟の1部リーグへの実力もついてきて、これからさらに飛躍出来るよう練習にはげんでおります。

『スキー部OB会』

事務局長

スキー部OB会は昨年10月11日、東村会長(当時)のご臨席を頂き、創部25周年記念式典を開催いたしました。また、本年春で会員が200名を超えたのを機に、創部以来ご尽力いただいた戸崎会長から、貝津新会長へとバトンタッチいたしました。

現在は各期の代表1名を学年幹事とし、会員の現況把握・住所録の整備・会費の徴収方法などについて、秋霞祭時に幹事会を開催し協議しています。また、斉藤杯(スキー)への出席、ゴルフコンペを定期開催し、世代間の交流も試み始めました。さらに、現役部員に対しては、具体的支援策(資金援助)を講じ、本年度より実行しております。

なお、新役員は以下のとおり。(○は期)

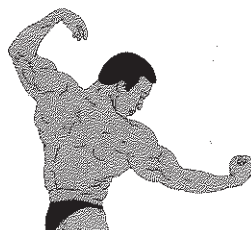
会長: 貝津正昭⑨、副会長: 川俣雅一⑩・関政美⑩、顧問: 戸崎高一⑦・斉藤民穂教授、会計: 石倉淑弘⑩、監査: 菅原公二⑨、事務局長: 福島英人⑩

『ボディビル部OB会発会計画について』

16期 OB会結成事務局 片山 裕司

TIU体育会ボディビル部のOB数は、昭和47年創部以来23年間に72名を数えます。

今、我々72名のOBが現役の後輩に何かしてあげられる事はないか、現状や意見を聞く場を設けることが出来ないか、又、OB同士が自分自身の現状を話し合える機会を持つてはありませんか。今年創部23周年を迎えるにあたり、OB会の発会を計画しております。数多くのOBのかたがたの御賛同、ご出席をお待ちしております。発会式の詳細については後日改めてご連絡させていただきますので、宜しくお願い致します。



『霞道会[剣道部OB会]』

会長 斎藤佳邦(8期)

一昨年よりOB会名を正式に霞道会とし、より一層の結束固めを目指しています。主な活動としては、現役への資金援助、定期的な幹事会、役員会そして秋霞祭開催期間中のOB総会、現役対OBの団体戦等です。さらに全国のOBに会の運営や現役の声、OBの近況などを掲載した霞道会会報を広報委員会のメンバー7人で年一回発行しています。OBに実際の会の運営面(特に資金面)でいろいろ大変である事を理解、協力してもらうのは、簡単ではありません。さいわい幹事、役員が自分の時間をやりくりし入れ替わりで何とか活動を絶やさないよう頑張っているのが実状です。

2000年には、創部35周年記念式典を予定しております。今後、OB相互間そして現役との絆が、より深められるよう霞道会を運営していきます。



今回掲載出来なかった現役各部OB会を次回以降に特集する予定ですので楽しみに。

平成 9 年度決算報告

収 入 の 部			支 出 の 部			
科 目	予 算	収入金額	科 目	予 算	支出金額	備 考
前期繰越金	34,131	34,131	新聞発行費	250,000	0	会報印刷代、郵送代
会 費 収 入	800,000	783,469	藍旗会賞費	420,000	467,852	賞状、記念品、横断幕
会 合 会 費	135,000	101,000	会 議 費	150,000	96,049	藍旗賞授与式、役員会
広 告 収 入	50,000	0	通 信 費	150,000	26,080	郵送費
雑 収 入	0	665	事 務 費	15,000	42,353	D P代、同窓会
			預り払戻金	0	43,888	陸上競技部
			予 備 費	34,131	50,000	祝金、賞品
			小 計	1,019,131	726,222	
			次期繰越金	—	193,043	
合 計	1,019,131	919,265	合 計	1,019,131	919,265	

〔平成9年度 藍旗会会費納入クラブ一覧〕

1. 躰 道 部	114,000円	7. ボウリング部	70,000円
2. ワンゲル部	94,000円	8. 少林寺拳法部	90,000円
3. アメフト部	106,000円	9. ヨ ッ ト 部	56,500円
4. ラグビー部	80,469円	10. 山 岳 部	500円
5. 硬式野球部	87,000円		
6. 剣 道 部	85,000円	合 計	783,469円

平成10年度藍旗会役員名簿

役 職	期	氏 名	〒	自 宅 住 所	自宅TEL	ク ラ ブ
会 長	1	海 野 正 幸				躰 道
副会長	8	長 野 光 司				ワンゲル
副会長	11	池 田 稔				ボウリング
副会長	14	天 間 基				ヨ ッ ト
役 員	1	加 藤 育 生				野 球
役 員	1	井 草 義 彦				ゴ ル フ
役 員	5	吉 野 和 典				硬式庭球
役 員	11	石 井 彦 光				フェンシング
役 員	11	福 島 英 人				ス キ ー
役 員	16	前 原 広 明				陸 上 競 技
役 員	16	片 山 裕 司				ボディビル
役 員	22	山 田 孝 之				アメフト
役 員	24	青 山 道 生				躰 道
監 査	10	大 川 和 男				少 林 寺
監 査	11	高 田 美 介				剣 道
相談役	1	辻 内 健				躰 道
相談役	1	三 宅 ヨ シ ロ ウ				野 球
相談役	1	池 内 和 彦				躰 道
相談役	2	神 頭 正 弘				ワンゲル
相談役	3	東 村 眞				アメフト

藍旗会・平成10年度の主な活動内容

(平成10年4月1日～平成11年3月31日)

4月9日(木)	「第1回役員会」開催(国際交流研究所)
4月22日(水)	正副会長・事務局打ち合わせ(新宿)
5月8日(金)	「第1回常任委員会」開催(国際交流研究所)
6月14日(日)	同窓会総会・講演会・懇親会への参加(ホテルグランドパレス)
12月11日(金)	「第2回正副会長会議」開催(国際交流研究所)
12月25日(水)	「藍旗会報・第9号」発行
1月14日(木)	「第2回役員会」※藍旗賞候補選考等
1月23日(土)	同窓会新春の集いへの参加(会場未定)*
2月6日(土)	「第2回常任委員会」開催(池袋第一イン)
	「平成10年度・藍旗賞授与式」開催(池袋第一イン)*
その他	正副会長・事務局打ち合わせの開催 藍旗会報の編集打ち合わせの開催 各クラブOB会記念行事への参列 不活性OB会の育成援助 藍旗会会員の親睦会開催

(*は、予定)

◆辞任挨拶◆ 鉄道部 23期 高道和成

この度、藍旗会事務局長を辞任することとなり、会員の皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました、大変申し訳なく思っております。遅くなりましたが、私、平成5年4月より勤務しておりました東京国際大学同窓会事務局を、平成9年12月20日をもって退職いたしました。当初は、平成9年11月25日より自動車教習所の教官として、勤務する予定だったのですが諸般の事情により白紙となりました。そんな状態の時に、たまたま、現在勤務している会社からお話をいただき、現在に至っております。

現在は埼玉県朝霞市にあります、直治薬品株式会社に平成10年1月16日より勤務しております。当社は、社長が同窓生の金子光男氏で、私にとっては鉄道部の先輩でもあります。平成10年4月より朝霞台駅前に自社ビルが完成し、現在そちらで総務担当としてがんばっております。

直治薬品株式会社は、現在社会問題になっております、環境保護の為に化学工業薬品の製造及び販売を行っており、今までとは全く違った分野の仕事をしておりますが、同窓会事務局で池内事務局長からご指導いただいたことや、藍旗会の皆様方からご指導いただいた事が、今の会社でも大変役に立っており、感謝の気持ちでいっぱいです。

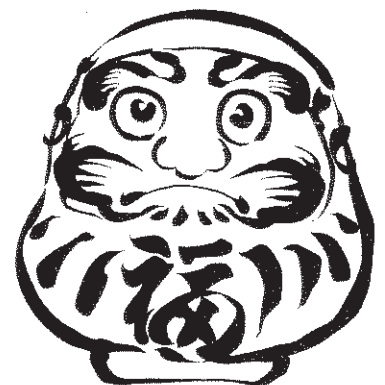
新たな環境の元で、新人として勤務しておりますので、今までのように藍旗会に顔を出せるかはわかりませんが、自分にできる限りのことを行いたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。また、お近くにお越しの際は是非、お気軽にお立ち寄り下さい。

会費納入のお願い

藍旗会会則第25条に「正会員及び準会員は年会費500円を納める。その会費は、各OB会が一括してとりまとめ納入する」とあります。未納の会員の方、クラブの方、ぜひご協力を宜しくお願い申し上げます。

なお、藍旗会費(および広告代金)の振込は下記口座へ。

富士銀行川越支店 普通 1511664
(名義) 藍旗会会長 海野正幸



編集後記

二年ぶりの発行になってしまいました。申し分ありません。記事を集めるのに、知恵を借りながら役員たちが、ボランティア精神でがんばった結果が今回の会報になりました。

月に一回程度、役員同士で顔を合わせると、最初は仕事に疲れた様子でも、会話をしているうちに元氣になっていくのです。今回の会報も、皆様方会員の年間五〇〇円という会費により発行できましたので、今後は、五〇〇円を一人でも多くの方々が支払ってもらうことが、現役等への助成にもなりますので、よろしくお願ひします。

(副会長 長野)

藍旗会報No.9 1998.12.25 発行

■編集・発行

藍旗会(東京国際大学体育会OB会)

〒350-1101 埼玉県川越市市場北1-13-1

TEL (0492) 32-2080

■制作・印刷

有限会社 宮一印刷